

令和元年 7月31日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.73

幼稚園・保育園親子図書館見学会



函南町立図書館

編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内子ども読書活動で函南町立図書館と水ようおはなし会が
文部科学大臣表彰を受賞しました。

文部科学省では、毎年、4月23日を「子ども読書の日」とし、記念事業として“子ども読書活動推進フォーラム”を開催しており、合わせて子どもの読書活動優秀実践団体に対して文部科学大臣表彰を行っています。平成31年度は、図書館の部で函南町立図書館が、団体（個人）の部で「水ようおはなし会（菊川市）」が文部科学大臣表彰を受賞しました。函南町立図書館は図書館の部の代表館として、表彰式の代表授与と実践発表を行いました。

子どもが来たくなる図書館を目指して

函南町立図書館

函南町立図書館では、「読書のまち・かなみ」の宣言に基づき、赤ちゃんから高校生世代まで、切れ目のないサービスを目指し、実践しています。その中から、特色ある事業を3点紹介します。

一つ目は、「幼稚園・保育園、学校との連携事業」です。

自力では図書館に来ることができない幼児のために、町バス送迎による、「幼稚園・保育園親子図書館見学会」を行っています。普段利用しない保護者にも図書館に来る機会を作り、大変喜ばれています。

小・中学校全校に配置されている、図書館司書と町の図書館は、年間にわたり連携協力しています。町バス送迎による、全小学3年生と全中学1年生を対象とした、「図書館見学会」や、秋の読書週間を利用した図書館内の学校の読書推進の取り組み展示を行っています。また、町と学校の図書館が協力して作成した「読書記録ノート」は、町内全小中学生が利用しています。

図書館と近隣高等学校連携事業の、「親子夏の寄せ植え体験」や、「おはなし会～英語 de よみきかせ～」は、人気の事業です。また、「新年本のお楽しみ袋」にも、高校生が協力してくれます。

図書館が実施するYA世代参加型イベントや、YA掲示板、YA通信に高校生がたくさん参画しているため、読書活動が停滞するYA世代へのサービスの充実につながっています。

二つ目は、「他機関との連携事業」です。

図書館は町の情報拠点である、という観点から、子育てや健康、福祉の面から町各課・他機関と連

携を密にし、情報発信力を高めています。

館内特集展示コーナーを利用し、「健康・検診」「歯と健康」をテーマとした本の紹介や、図書館ロビーにおいて、出張健康・栄養相談も行い、喜ばれています。また、おはなし会は、保健師・栄養士、子育て支援課や福祉課とも協働実施します。

三つ目に紹介する事業は、「本のテーマ展示」です。

子供が様々な本に興味をいだくことができる環境を整備するため、職員は手作りの工夫を凝らした展示を行っています。

夏休みには、自由研究に関する本の展示を行います。工作見本や、自由研究のアイデアカード等多数の、職員手作りの作品が並びます。

私達職員は、館内いたるところをデコレーションして、メッセージを送り、子ども達を歓迎しています。何度でも来たくなる図書館を目指して、今後も子どもの読書推進に取り組んでまいります。

（函南町立図書館 館長 牧野 満枝）



子ども読書推進フォーラム受賞式

絵本のすばらしさ、楽しさを子どもたちと分かち合う 水ようおはなし会(菊川市)

菊川文庫(市立図書館)の開館を機に絵本の読み聞かせグループとして発足し、今年で33年目となります。会員は30代から70代と幅広く『絵本のすばらしさ、楽しさを子どもたちと分かち合う』をテーマに、楽しく活動しています。毎週のおはなし会を軸に、人形劇、絵本の勉強会、出張おはなし会、こども図書館、日ようおはなし会等と活動の幅が広がっています。

開館当初から続く、図書館主催の『親子読書の集い・おはなしステーション』に当初から参画し、毎年400人余の親子の参加があります。うれしいことです。

今回の受賞に図書館職員の皆様が喜んでくださり、図書館利用者の方々からはお祝いのことばを掛けていただきました。市民の皆様の温かいまなざしを感じ、地域の図書館の特性を大切にし、おはなし会が

親子のふれあいの場、情報交換の場となりコミュニティの広場のひとつとして今後も楽しくワイワイと活動を続けていきます。「継続は力なり」を信じて!

(水ようおはなし会 代表 三浦 康子)



水ようおはなし会(菊川市)

新設図書館紹介 磐田市ひと・ほんの庭にこっと・伊豆市立天城図書館

平成30年8月に磐田市ひと・ほんの庭にこっとが、平成31年4月に伊豆市立天城図書館が移転・開館しました。

— 『新しい天城図書館は地域とともに』 — 伊豆市立天城図書館

伊豆市は伊豆半島の中央部に位置し、南は天城山、西は駿河湾に面し、豊かな自然環境に恵まれています。山葵や椎茸などの特産品に加え、豊富な温泉を有していることから多くの観光客が訪れるエリアであり、東京オリンピックを日本サイクルスポーツセンターで開催することになり、ますます来訪者が増えることが期待されています。そんな伊豆市において、天城湯ヶ島地区は、特に文学にゆかりの深い地域です。作家の井上靖が幼少期を過ごし、川端康成が代表作の一つ『伊豆の踊子』を執筆し、梶井基次郎や宇野千代といった日本の近代文学を代表する多くの文人たちが訪れ、この地を舞台とした作品がたくさん生まれています。今でも地域には文人にまつわるエピソードやゆかりの品々が残されており、文学関連のイベントも開催されるなど、地域では「文学風土」が色濃く息づいています。

この地域にある「天城図書館」は、平成31年4月1日に移転開館しました。新たな場所は、井上靖の母校でもあった旧湯ヶ島小学校を改修した「市民活動センター」です。元校舎の形状を工夫し「児童書コーナー」と「一般書コーナー」に分け、大きな特

徴として同じフロアに「井上靖資料室」を併設し、郷土の作家である井上靖の作品を中心に、文学や郷土資料を充実させた構成となっています。

新しい天城図書館は、これまで以上に地域の文学的拠点となり、また地域住民の「学び」をサポートしながら「地域とともに歩んで成長していく図書館」を目指します。

(伊豆市役所 社会教育課 図書館スタッフ

主幹 鍵山 典久)



伊豆市立天城図書館

磐田市ひと・ほんの庭 にこっとは、平成30年8月11日にリニューアルオープンしました。磐田市内にある5つの図書館のうち豊田図書館を改修し、明るく開放的で温かみのある新たな空間として生まれ変わりました。人と本を介することで“相談”“子育て支援”“市民交流”“学びの支援”などを提供する複合施設です。子育て支援と図書館のコンセプトが融合され、司書、保育士、保健師が常駐し、子育てに関わる方をさまざまな角度から支援することを目的としています。

子育て関係図書や児童書を自由に楽しめるスペースがあり、赤ちゃんが泣いても、話ながら本を選んでも気兼ねなく楽しめます。大人が静かに読書を楽しめるスペース、学習スペース、自動販売機が設置された飲食可能スペース、庭で遊べるスペースもあり、家族で一日くつろぎながら過ごせます。

資料の貸出、さまざまな講座やおはなし会、ブックスタートなども行いながら、子育て相談に応じ、関係機関と連携しながら子育ての悩みに寄り添っています。また、静岡労働局との雇用対策協定の中で、出張職業相談・紹介を週に2回「にこっとハローワー

ク」として、主に子育て中の保護者の就労支援も行っています。

「にこっと」という名称には子どもと子どもに関わる全ての人が明日に向かい、「笑顔」になれる場でありたいという思いが込められています。誰もがちょっとした悩みから開放され、にこっと笑顔になれる施設として今後も運営していきます。

(館長補佐 岡本 由紀子)



磐田市ひと・ほんの庭にこっと

平成31年度 総会報告

平成31年度の静岡県図書館協会総会が、4月23日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の議案が承認されました。

- 第1号議案 平成30年度事業報告案
- 第2号議案 平成30年度決算報告案・会計監査報告
- 第3号議案 平成31年度事業計画案
- 第4号議案 平成31年度予算案

平成31年度 静岡県図書館協会役員

理事長	三科 守	(静岡県立中央図書館)
副会長	杉山 靖	(沼津市立図書館)
副会長	市川 智章	(静岡市立中央図書館)
	高瀬 理子	(浜松市立中央図書館)
	加藤 豊裕	(富士市立中央図書館)
	赤堀 賢司	(掛川市立中央図書館)
	浅井 勝巳	(吉田町立図書館)
	澤田 均	(静岡大学附属図書館)
監事	塩谷 為善	(伊豆市立修善寺図書館)
	小幡 壯	(静岡県立大学附属図書館)

※加盟館名簿順

<令和元年度事業計画>

- 会議・大会
- 理事会 第1回(4/23)
- 第2回(9月初旬・文書による決裁)

第3回(2/14)

- 総会兼館長会(4/23)
- 相互貸借担当者会議(5/9)
- 静岡県図書館大会(11/18)

研修

- 図書館基礎研修(4/19)
- レファレンス基礎研修(5/16・5/23・5/29・6/5)
- 図書館広報研修(6/12)
- 図書館運営研修(7/11)
- 大学・専門図書館研修(9/4)
- 図書館情報研修(9/13)
- 児童・青少年サービス研修(10/3)
- レファレンス応用研修(10/16・10/24)
- 図書館サービス研修(12/19)
- 図書館情報交換会(10月～12月、2～3回実施)

専門委員会

- 調査研究委員会 年4回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<令和元年度予算>

収入総額並びに支出総額3,350,000円の本年度予算が承認されました。

平成31年度 静岡県図書館協会館長研修会の報告

株式会社未来の図書館研究所所長の永田治樹氏をお迎えし、「これからの公共図書館の再検討：論点整理と欧州での展開事例」と題して講演いただきました。

永田氏は、これまで訪れた欧州の図書館の中から、デンマークのオープンライブラリー（職員がいなくても個人IDを入力することで入場でき、集会や会議にも利用可）、オランダの公共図書館の法人化や課金制度について紹介され、これからの公共図書館のあり方についてわかりやすく御説明くださいました。

また、今後公共図書館を持続させるためには地域の住民に支持され、利用者の要求に合致したサービスを展開し、システムの統合や運営形態を工夫していかなければならないと強調されました。さらに、海外では図書館がキャリア変更支援をしており、日本国内でも「図書館ができることは何か」を考えていく必要があるとお話してくださいました。

受講者からは「これからの公共図書館のあり方を考える上で参考になり、今後目指すべき方向性のヒントをたくさんいただけた。」「事例を豊富に提示していただき、具体的でわかり易い内容でした。」等の感想が寄せられるなど、大変有意義な研修となりました。



永田治樹氏による講演

令和元年度 第27回静岡県図書館大会

日時 11月18日（月） 9：45～15：45
会場 グランシップ（静岡市駿河区東静岡）
日程 9：20～9：45 受付
9：45～10：25 開会式・表彰式
10：25～10：40 情勢報告
10：40～10：50 休憩
10：50～12：45 講演・対談・諸連絡

「ソーシャル・イノベーションを巻き起こす図書館へ」

講師 太田剛氏（図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター／慶應義塾大学講師／編集工学機動隊GEAR代表）

林左和子氏（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）

13：45～15：45 分科会 第1分科会 図書館サービス① 第4分科会 児童・YAに
第2分科会 図書館サービス② 対するサービス
第3分科会 大人の読書活動 第5分科会 学校図書館
第6分科会 大学図書館

問い合わせ先 静岡県立中央図書館 企画振興課振興班 TEL 054-262-1246

※参加費は無料です ※各分科会への申込は、原則として先着順となります。 申込締切日 10月18日（金）

公立図書館等職員研修のお知らせ

今後行われる研修の日程の一覧です。ぜひご参加ください。

専門研修	大学・専門図書館研修	9月4日（水）	静岡理科大学附属図書館
	① 会場事例等報告 ② 会場館見学 ③ 講義「IIIF（トリプル・アイ・エフ、国際的な画像相互運用のための枠組み）入門」 講師：一般財団法人 人文情報学研究所 主席研究員 永崎研宣氏		
	児童・青少年サービス研修	10月3日（木）	静岡県立中央図書館
	講義「子どもの本の紹介文の書き方」 講師：日本図書館協会児童青少年委員会委員 川上博幸氏		
	図書館サービス研修	12月19日（木）	静岡県立中央図書館
① 講義「日本十進分類法新訂10版を使いこなす」 講師：公益社団法人日本図書館協会分類委員会委員 蟹瀬智弘氏			
② 講義「書架サインの作り方」 講師：司書、「サインはもっと自由につくる」著者 中川卓美氏			